第2回農林業センサス研究会

今後の農林業センサスのあり方等について -地域調査を中心に-

2012年11月5日 明治大学農学部 橋口卓也

はじめに

- ・これまでのセンサス活用経験
- ・センサス地域調査データの重要性
 - ・農林業における地域コミュニティの重要性
 - 地域資源管理機能
 - 生產補完機能
 - 生活相互扶助機能
 - →個々の経営体にとっても、地域資源の存在と良好な管理状態が不可 欠、また上記の3つは単純に切り離すことができるものでもない

1. 調査対象と項目の連続性の確保

(1)調査対象の連続性の確保

・継続的調査の実施が担保されているセンサスの最も重要な点は<u>連続性</u>。よって、できるかぎりの<u>調査対象の連続性</u>を望む(必ずしも調査体系の連続性でなくても→後述)

(これまでの経過)

- ・1995年:農村地域環境総合調査(旧市区町村カード)
- ・2005年:農業集落定義の大幅な変更
- ・2005年:農村集落調査(センサス付帯調査)=標本抽出調査

(2)調査項目の連続性の確保

・仮に調査対象の連続性確保が難しくても、<u>調査項目の連続性</u>があれば、経年変化 を観測できる

(調査項目の変化の例)

・2005年~2010年:地域資源の状況

2. 旧市区町村レベルでの調査の実施

(1)調査体系について

- ・現行の(新)市区町村調査と農業集落調査に加え、1995年の農村地域環境総合調査(「旧市区町村カード」)に相当するようなものの実施を望む(地域資源の把握の上で重要)
 - ・2005 年の農業集落調査において「地域資源を活用した施設」9の施設の数+ 年間利用者数を調査
 - ⇒旧市区町村レベルで把握するにふさわしい内容。他にも廃校施設利用、 直売所、自然エネルギー活用の可能性、無住化危惧集落(「限界集落」) の把握など
 - →地域資源の特性、影響の及ぶ範囲と、どのような調査体系がふさ わしいかについて吟味が必要

(2) 対応した調査項目の再編

- ・調査区分に適した調査項目の配置
 - ・法制度上定まっているものや、集落内部の状況を把握しなくとも<u>外形的に判断できる項目</u>は、市区町村調査や、旧市区町村レベルの把握が適切(職員調査の必要性)。

(調査項目の例)

- ・立地条件(法指定状況、DID までの所要時間、等に加え、近年の「限 界集落」に関する議論等との関係では、行き止まり集落か否か等)
- ・農業集落調査独自には、<u>集落の紐帯や活動状況などに限定</u>することもできるのではないか。そのことによって調査項目が増やせればなお望ましい(集落構造の把握)
 - →ただし、集落機能(資源管理機能、生産補完機能、生活扶助機能)の地域性 への配慮も必要
 - →必ずしも集落が資源管理機能、生産補完機能の単位と一致しない場合も ありうる
- ・<u>政策効果の検討</u>に資するものの把握を望む(直接的に政策効果を測ろうというものではなく、政策対象の集落・地域か否か、実施しているのか否か)

(調査内容の例)

・集落や地域を対象とした政策・制度(例えば、中山間地域等直接支払制度、農地・水保全管理支払交付金、森林整備地域活動支援交付金制度) の対象となる集落か否か、政策・制度を実施しているか否か、など

3. 公表データの表章のあり方、公表方法

(1) 統計表章のあり方の改善

- ・農家戸数別、農家率別などの多様な集計結果の公表を望む (現行の内容)
 - ・2010年:全国農業地域・都道府県別、農業地域類型区分、DID までの所 要時間別の3つの表章

(2)経営体調査と地域調査、他の農林統計との接続及び公表方法

- ・2005 年センサス農林業センサス地域データベースの発想の重要性
 - →しかし、現在は公開が終了している
- ・集落営農実態調査との接続
 - →接続は可能だが、公表は限定的

(3)農業地域類型区分別表章の農林業経営体調査とのずれの解消

・農業集落調査では、2010 年センサス結果について、2005 年時対応の農業地域類型 区分によって公表。一方、農林業経営体調査は未公表

(4) 他省庁統計との連携の可能性

- ・GIS の活用
 - →集落重心(地理重心ではなく、人口重心)もしくは集落中心地(公民館施設など)の地理座標情報付与など
- ・メッシュデータ←→農業集落データの変換が可能になれば、データ活用の可能性 が増加
 - →集落界ポリゴンとメッシュのオーバーレイ及びデータ按分手法の確立
 - →山間部では広大な森林を擁し、居住領域は集落範囲のごく一部
 - →経営体調査客体の座標軸確定あるいは、国土地理院地形図データ の建物、あるいは土地利用のレイヤ利用などの可能性

おわりに

農林水産省

農林水		12 ##a	حادا بازر با با	m	- 4A A				m→.L.L.:	L 70		٠ 					1 400.00		1								-	T		(
1995年	農業で	ノサス農	村地攻	塓項	総合	調査	IΒ	中区	町杯フ	カード	4	A票				基本指標名称	都追	府県	番号		市区	町村	番号	1	旧市区町		뮹	農業地域類型	1 市町村	旧市区町村
		世	帯		数	(世界	作)		T		人				1 (人)	1 -2 - 17	f	最も	も近い	DID	旧市区	町村		最	も近い地	方中心	節市	旧市区町	※1 ※2:耐難	時間は次による
1	総世帯数		農家			非農	家		総人	D		血索 1			非農家		都道	府県名	7	「区町村名	自由	市区町村名	वर्ष	都道序	5県名	都市名	所	村の中心地の標高	1 =30分未満(井 2 =30分~1時間	(共通) (共通)
	★ 1	高齢者世帯	世帯数	高齢	者世帯	世帝	数高额	岭者世帯	*	65		農家人	657	幾以上	人口	65歳以上][][[][[]][[所要時間		3=1時間~1時 4=1時間半以上 4=1時間半へ2	(%1)
1995年				-					+			-	-		-	-	=- K			v		te l	<u>*1</u>	- 10 le		7-1	×2	(m)	5=2時間以上	
考)1990年		法制 上	 : の地	城	指	 定	\dashv			然保1	整 等	の指	 定		旧市区	町村の土地) 傾斜	度別面		(%) ★3	·		ニード		_ '	(10) の傾斜度別	月面積割合(%) ★:	-1995年	T
		計画区域		#	透過	豪 離対	1 15					種護保			(h	a) *2	1/30		1/300	1 / 100	1/2	整理	実施	30 a 区画	田の用水 路 整 備		8°		3 畑 の 整形済 面積割合	l ,
2	市区回去	市区 a	外の都市場の報告	農用地区域	棘山	館 島第	長		道 生自然	全 地 域 境域	境保全	息 安	土崩 砂の 液防	水原かん酸体 魚 つ き 林			1/30	. .	~	~	1, 2	0 面積		30 a Ed	面積割合 (%)	8°未満	"	15°以上	II .	/
	市区 旧村か 街域 市の市 区全社	化調整 b 以	の画 奥都区 地	地区	点 1월	地版地	出現し	公公	府県立 自然環境保	環地県自	全地域	埋	流場	<u>ا</u>	面非	林野面積	未	満:	1/100	1/20	以.	د\ خ ا ±	1	以上	(%) ★3	0 //(10)	15°	110 01	*3	1/
	化a 岢遠	域 整 b 以	市城城	城 均	城域	帯 興場	以域	園園	然國保	域境域然	城区	桑区 林	・林	林	-	_		1140	1 / 100			<u> </u>	3	<u> </u>	× 3		15		× 3	4/
1995年	過去5年間の計	地面積の変化	通し達し	過去5年	関の林野	面積の変化	遵し			協	<u>_</u>	有	無		水	<u></u> 田 σ	集	<u> </u>	転	作の	取	組	7 -	、 学 校	 	学校	の有り	iii iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	#5年間における	被害の発生は
		J	台級 台級			変 増	一会銭上	愚			A				固			田畑		_	食のうちブロック				校	Т ф			耕地の荒り	
3	減 主 た 転用炉	化加	年間に現状間に現状		主 な 転用先	化加	間のに現	P#	営農指導		一 ※		導員数		取組の範			の範囲	- 200		日の範囲	該当農業		6過去10年間の			10年間の動向)	なり範		の種類
	た位は	7 1 2	流状 復状 廃 旧		1 2 位	なし	投获	が 智	農指導	他の業務	5 の有	営農指	導 他	の業務	単集 複集	σ	100	複集での	s I	5th /~	複集を数の	集落数	統な代際を	也合他統自	で新わり、	統な他合	他統 自で 新る 旧統 設 に合 内合 が	あし// 囲	鳥駅	土 ほ荒 砂 場 の廃
	×3 ×4 ×	4 した	※5 ※6	× 3 ×	4 ×4	した	× 7	無専	任	と兼任	#	専	任と	兼任	の答の答	他(集落	の落し	の落他	(集落	りの落	の落他	(集落)	合しを	たたに合内	統設っ ※8	合し統た	に合 内合 が	£ × 8 × 9	書 書	崩の廃
1995年			生 5	年	間	に *	1 17	 る	被	害の	発	生 :	大 況	(-	つづき)		家	医雑廃 か	kの主な処	理方法別農	業集落数(集落)★	4		その主な処理	方法別農業領		*4	(参考)	┰┸┷┸
	耕地の荒廃が原		山林のチ				T			為が原	因				他が原	因				合 併	T	$\neg \neg$			水	洗		1	総農業集務	
4	被害の種類	#U3	被害		種類	·	範		被害	の種	類	96		被	害の程		_!		製落排水 包 設 ・ コミュニ	- D	用排	水川	の他	公 共	集落排水 施 設	合 件		くみ取り	1	/
	土污水污	その世 ※9 影響	病土砂崩虫	ほ荒っ場	大 土汚	の	囲	鳥獣害	土砂崩	}	汚水汚	10	鳥影響	南 土砂崩	: ほ荒 水	土汚 水汚 その	下水	1 5	ティープ	净化槽	川等	12		~ J. **	コミュニティープ	obs. ct. same	その他	1 177	(集落)	1/
1995年	壊染 質染	é ※9 審	害崩	の廃る	事 壊染	質染 他	<u> </u>	書書	増	廃 害 場	染質染	他 ※	多客	野川	の魔客	壌染 質染 他	-				+			下水道	ラント	浄 化 槽		-	*4	∤ / ⋅
19904-		環境	保	全	型	<u></u>	業	<u>_</u> _	集	<u>∃</u> 64) 7	2 取	組				<u> </u>	er er	タ な	家		0	<u>ا</u> ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	ار الم الم	·	理	の状	-	1	_V
		環境	保 全		農業		T		環境	保全型	喪業の	りうち	有機農	業	家		市	区		村 運	営				農	ŧ 166	運営			
5	取組:	E·体 販	売 形		栽培			取組			売 形			農作		処理施設数			理該当		利用対			心理施設数		処理該		利用対象		
	農農産生業法	組そ市出	小と 消と 売契 費契		米・豆	野果	その他	農業	産 生組 :	そ 市出 小売 場 に荷 店	と対象	その *		野果菜実	* で 無	堆きゅう 肥を販売 す る	堆きゅう 肥を無償	酪	肉 豚	鶏他	米	野果菜樹	その施	きゅう を販売 る	堆きゅう 肥を無償 提供する	酪用解		米・豆菜	1 0	
1995年	協生人産	合他に荷	店約署約	他	- H	米夫	180	1 生	人座台	也 15-16 /6	*1 4 *	1 100	12.	* 5	= 102 /** 20	y 2	提供する	辰	4	TIEL.	12	米(街)	102 9		TRETHE 9 S	展生	他	<u> </u>	19 10	/.
		築	d 6	35) <i>y</i>	よ 家	畜	の	\$	ん尿	処	理(の状	况	(2:	づき)					地	域の	自	然	資 源	等 の) 保	全 状	況	_1K	
		生	産 組		運	営					そ		他	運	営		1		全の		が田				きが田のう		地田		の対象	
6	処理施設 堆きゅう	数 (施設) 堆きゅう	処理:	該 当;		利用	対象を			施設数(加				畜種		象 農 作 物 野 果 そ			保全の主体	十の生涯	的 · 機				の主体	生殖 景保 经	機能問題海マ	根拠	保全の主体	
	肥を販売	肥を無償	酪肉用農牛	豚	鶏 その他	* 5		果での機関を	#き 肥を 1 ・す	販売 肥	きゅう を無償 供する	酪用	豚	鶏ん	米一豆	野果で	県 市 条 町	州定	地共 方公体	境保 産保	景保 緑間 観 地保 の全 空全	観源 その 光保 の他	県 市須 条 町 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村	方田	そ 生の 塚保 他 水全	産保観地	間 観源 そ 保 光保 の 全 資全 他	県 市条 協 条 町 利 村例 定	地共 そ 方田 の 公体 他	土の 生源 寝保 産保 水全 資全
1995年	-	JECK 7 S	1/200		16		- 1 /	TPJ TEL	1		V. / 2	- AK	7		++=	JK 127 K	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	77 /2			7 - 1 - 1	A = 15	D. 171	7 ~	12 /// 2			177 1777		
							也	域		の	É		然	資	D			の	保		è	状	况		(つづき)					
_	畑(つづき		保全の対							保全の						保全の						全の対						象がそ		
7	目的・機線間観測			の主体			機能開網源	7 18	根拠	保全の	王体 チ 十 g	1年順長	と 機 間 線 間 線	銀旗 ス	根书		+の生	海 景保	· 機能			保全の主体		i 的 ・機		根拠	保全の主体	十の生涯景	・ 機 能 関 緑間 解源	7 /
	地保 光保	そ 県 市弁 の 条 町 他 例 村の	協 地 大 定 公 体	の相	保 産保 化全 管全	景保 観 ゆ の全空	保 光保全 資全	その他	制 村例	協 地共 方団 公体	その 塩の 水金	生源 景 産保 観 全資全 の	地保全空全	光保 の 発全 他	ティック 中央 市条 町 例 村例	方団の	土の生 境保 水全質	保観 全の全	地保 光保空全 資全	その他例	市条協町 村例定	方団 の 他	塚保 産(水全 資	原景保 緑間 早朝 地保 全の全空全	観源 そ 光保 の 資全 他	県 市条 協 祭 町 例 村例 万	方団 の 出 公体 他	士の 生源 景 壌保 産保 観 水全 資全 の	地保 光保全 空全 資全	その他
1995年		1																												
		動	植	物		n	生	.0.	及			生	態	系	Ø	保	護	0	取	組			去5年	間の農業	集落の変化	との状況(集落) ★ 5	※ 7∶1	= 荒廃 = 自然に推掛がら	ь <i>и</i> -
		の対象	が動物	₹ ±	保ま 上取 符・	雙の対象が 自保 2		うち魚类				対象が 河開	昆虫 規	そ生		の対象が					51年生植物	物で消	滅し	小学生の	世帯が減	世帯が増	(参考)	3	= 荒廃 = 自然に稚樹がと = 植林している = リソート開発に - ネの他	ュエ に使用
8	生息 復元 経 元組 取 が捕獲 が が が が は の の の の の の の り の り の り の り の り の り の	日保 森 河川 ボール の の	発うショラス	の後	が 弾捕り 探禁	然環境が	原本の歴史 何川の整備	発行為ナ	トラのイ	主取 狩捕獲 類 ・探禁	保称の	川 発	シト	恵復	取締獲	林 川 発	シトコラの	直復	狩捕獲 ・探禁 ・探禁	森林の造成	発 シト ヨラ		農業	いない農	少した農	加した慶	快 崇	£	= その他 = 10年前からない	
	元解禁	では、のでは、のでは、 のでは、のでは、のでは、 のでは、のでは、のでは、のでは、のできます。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	為ナスの制ルト	他	長 探禁の組 取止	境の全元	の整備	行為リナル	対価	短 探禁 の組 取止の	電電 の造成	の整備の	ナスト	他気の	探禁境 組 取止 の全	の豊成の	ナス 制ルト 化	元の組	探禁境 取止の全	の造成備	行 ラ ラ カ カ カ ルト		落数	業集落数	業集落数	業集落数	集落数1	f 2	=10年間の統廃さ	合により
1995年				ΙΪ																								×9:1	一大部分の農業第= 約半数の農業第= 一部の農業集	製落 製落 変
	Mar years on	M C MAIN	to the same of		T) PM .32	# (wen) O+	V48.45 14	att vit co	* Z J ^ -	~1.···	[1, *	(=1 T	\ X	(ULTED MG) 5	31")		<u>-</u>		······································	*:	3:1=5%	6未満の減少 -10%の減少 6以上の減少	b P	※5∶ 1	二大半はそのま 三大半は転用し 三荒廃と転用が	ま荒れている ている	×10 : 1	= 自旧市区町村の	・ 内に家畜の飼
注:1 実	収及び割合以世帯数」(表	外の欄はコー 側番号1)の	ト表示であ 非農家世帯	かは、	の除、圧発性帯数	古(※印から農家	世帯教を	場合は	、談当の「人口」	のるものに (表側番号	1) の	・1」を引 非農家人に	は総人口	から厚	(以下B界も 表家人口をそう	同じ。) れぞれ差し引い 農林水産省統: 利用に当たっ た。	たものでは	ある。	□ 145 (3 ⁷ P)++	単件に合っ	***	3 = 10 9 4 : 1 = 住宅	○以上の際2 E敷地	v	3	ー 六年は数月し = 荒廃と転用が = その他	半々程度	2	があり処理場が コ自旧市区町村内 があり処理場が	がある 内に家畜の飼 いたい
3 ★	1は「国勢調したものであ	盤」(総務庁 る。したがっ)を基に、 て、組み替	え集計	は平成2の基となった。	年の基本	単位区が	内集計局とめ、一	未を、19 部の旧市	90年につい 区町村にお	いてデ	成 (年の) ータが継続	い地域(ゆきしないちょう)	リリチ) 合があ	米町裕米を	表外水産も続い 利用に当たる	口角戦争にっては留意	されたい	。 。 。	半江に組み	省る	2 = 公井	E敷地 長施設用地 E業用地 レフ場・ス	半一場	%6:1	=現在作付して =現在保全して	いる いる	3	=自旧市区町村内 かなく処理場が	内に家畜の飼 がある
4 ★ 5 ★	2は「1990年 3は「第3次	世界展林業セ 土地利用基盤	ンサス杯業 整備基本調	地域調	金」 精果 構造改善	を利用し 局:平成	、★42 5年)	文び★ 5	市区町村	は「同農業	乗洛調 替え集	盤」結果り 計したもの	- 盛つく) である。	· 莱莱茅	多奴を適用し	Comments to the to-	i a destrict	4. m de =	T00414	+		4 - コル 5 = 山杉 6 = 採7	レフ場・スポインでは、 はく植林) こ・採土地の他・荒地	τ — <i>1</i> 87	2	一元江际王して	v -u	4	= 自の	内に家畜の飼 ドない
6 「i 外しi	過去 5 年間の た。したがっ	農業集落の変 て、「(参考	:化の状況」 :)農業集落	(表側: 数計」	衛号8) (表側番	以降、「 号8)に	地元の別	************************************	物の加工 的地域に	・敗元事業 所在する農	」(B 業集落	宗表側番う 数は含まれ	ァムロ)に いていない	x、展第 `。	を地域類型の	「都市的地域」	に該当し!	た旧市区	△町杆を調	重の対象が	り除し	7 = その8 = 未料	D他 利用・荒地							

(参考)

農林水産省

1995年	産省 農業セン	ノサス農	村地域王	景境総合	調査	旧市区	町村カー	k 1	B票		í	基本指標	都道府堺	番号	<u>.</u>	市区町村	十 番 号	.	旧市区町村	寸 番 号		農業地域類型	市町村	旧市区
	JC/K = -	, - ,,,,,,	11-0.945		1 1479	(H 1)1 (C.)	.1.1170	' '	U 71K			名 称	BINETITY	14 7	<u>' l </u>	1012-71) 1mar 13		1011/12/01/4	1 167 75		展業地域類型	中門村	Himb
	裏のシ時篇論を考を対 交通手段の確保の状況 他 市 区 町 村 等 と の 交 流 事 業 の 実 施 状 況 イン 家とした細面 ほこま 前回の 状況 送 迎 バ ス スクー・バス 異常体 味 ・ 度 セ 度 ジェ と サール・ アール・ス マース・スタース サール・スタース マール・スタース マール スタース マール・スタース マール・スタース マール・スタース マース マース マール・スタース マース マース マール・スタース マール・スタース マール・スタース マール・スタース マースタース マール・スタース マール スタース マール スタース マール・スタース マール・スタース マール・スタース マール・スタース マール・スタース マール スタース スタース アール スタース マール スタース スタース マール スタース スタース スタース スタース スタース スタース スタース スタ												т [<u>₹</u> Bj	村	が	誘 致	L	ار		L			
3		the rate listers		-4//	学 智 交 流	理地直送る	農山漁村	留学 伝統芸術	た 文章	製	造	築	製造業の	つうち電気機械	或器具等	サ	ービス	業	サービス第	きのうちレジャ	一施設等	~	の (他
9 ii	8 工製間 帯 数	間度 村 村	の町村	区 の の	交流の有無 南田宿泊施 で流の有無 をの他施設無	交流の有無をの他施設	の 交流の有無 施無 施	その他病の有種用宿泊	設での 有他有 無施	事業所数	総従業員数	地元従業員数割合	事業所数	総従業員数	地元従業員数割合	事業所数	総従業員数	地元従業 員数割合	事業所数	総従業員 数	地元従業 員数割合	事業所数	総従業員数	地元員数
1995年	*11 *12	^{※13} の営 が	託 他 の営	が託 他 負	有 泊無 施 設無	有 泊無 施	無無施	設無 無 施	設無 /	(事業所)	(A)	(%)	(事業所)	(人)	(%)	(事業所)	(λ)	(%)	(事業所)	(人)	(%)	(事業所)	(人)	(9
19904-				地	元			林				th	<i>о</i>				L							
1											営		加 ・ 漁 協	<u>工</u> · 森 林	組合が	斯 運営	売	事 農業	生産	-	が運	AV.	_	
10	事業所数	当該事業	地元従業	対 象		9 等			地元従業	対象層						対象農	産物等	事業別				象農産	営 物 等	
	(事業所)	従業員数 (人)	員数割合 (%)	野果男類	山 畜産 魚介類 物 類	木 その他			員数割合 📲			K &	従	業員数 員	数割合 野菜類		新 魚 木工品 無介類 品	その (##	従業員	数 員数書	哈賢		魚木	その
995年				291 791 7	90 700 380	50 TU	17 38377		****	親親親	999 934 di	6 10 (+	981717	-	(707 類	類類	物類品	他「争業	DI) (X	(76)	/ 類 数	類物	類品	他 /
	L	地 元	の農	林水	く 産 物	1 0 t	D I .	販 3	恵 事 🗦	集 (つづ	<u></u>					<u> </u>								<u> </u>
l	農業					1 営				が 運	営		注:「高速	道路のインタ	ーチェンジま	での所要時間	」(表側番号	9) について	は、離島に所	在する旧市区	町村及び沖縄	1県を調査の対	象から除外	した。
11	事業所数	当該事業 従業員数	地元従業員数割合	対象	農産物	9 等	事業所数	当該事業	地元従業員数割合	対象が		等	注:「高速道路のインターチェンジまでの所要時間」(表側番号 9) については、離島に所在する旧市区町村及び沖縄県を調査の対象から除外し ※11:1=10分未満											
	(事業所)	W	(%)	野果乳類類類類	山 畜産 魚 菜類 物 類	木工品他	(事業所)	(A)	(%)	野 果 山菜類 類 類	畜産 魚 オ	その他	4 = 1 5 = 2	時間半~2時	· 中間	330 E		4	oー " / 1= " [*] 5 =依頼により	その他				
995年										1 1				-11105-12				`) - BARICA:	,				
			主副業	別農家	数 (戸)			事 兼	業 別	農家数	(戸)		兼業種	重類別農家数 (戸			家族 柞		農家	数 (戸)		農業労働力保有状態別		家数
12	総農家数		C F -473 -1- 348r	準 主 薬	C C all also alls	副業的			第1種		第 2 種	r	雇用	兼 葉	1	世帯主		単身世帯主と		その他の			業事従者	
	(戸)	主業農家	65歳未満 農業専従	農家	65歳未満 農業専従 者がいる	農家	専業農家) 年齢人口	兼業農家	世帯主	兼業農家	世帯主	恒常的勤 務	出稼ぎ・日雇・	自営兼業	世央同とが	同居あと つぎ失婦 が い る	帯間とがざる	同居あと つぎ夫婦 がいる	世帯	他 出 つ い が る ぎ る	男子農業		⊣ .
			者がいる		者がいる			がいる		農業主		農業主	到 初	臨時雇	ļ	がいる	がいる	がいる	がいる	12 "	がいる	1 人	2人以上	業専
95年 販売農家											_					1								+-
	農業労働力保有	状態別農家数(F	可) (つづき)	経	L 営耕	地面	積規模	別農	家数	 [() 内は北	海道】(戸)		L		農	家	\	<u> </u>	(人)		L		就樂社
	orabalanik o		an also rate eac			0. 3~0. 5	0. 5~	1. 0~	1. 5~	2. 0~	3. 0~	5 0 he				///	7			(//)				(A, XX.1)
13	考がいる	60歳未満男子 農業専従者 が い る	農業専従 者は女子 だ け	自給的農家	例外規定 販売農家	ha未滋	(1. 0~ 3. 0)	1. 5 (3. 0~ 5. 0)	2. 0 (5. 0~ 10. 0)	3. 0 (10. 0~ 20. 0)	5. 0 (20. 0~ 30. 0)	5.0 ha 以 上 (30.0ha 以上)	81	男	15~29歳	30~59	60~64	65歳以上	女	15~29歳	30~59	60~64	65歳以上	
995年																								
販売農家		软	494			L	<u></u>			<u> </u>			<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	1							
		自営農業・その	楽	状 態	, Si	世帯	員	数(人) (つづき	<u>*)</u>				農業	従 事	者	(従業日数別)	(人)			農	業 就 業	人口 ((人)
14	自営農 農け 従事	自営農業が主	その他の仕事が主	その他の 仕事だけ に 従 事	仕 事 に 従事しな か っ た	女	自営農 業だ に 従事	自営農業が主	その他の仕事が主	その他の 仕事だけ に 従 事	仕事に 従事しな かった	81	男	59日以下	60~149	150日以上	女	59日以下	60~149	150日以上	3 1	男	15~29歳	3
			IT AN. IT	E (C W F // 7 / 2				/- ±	11.4%.							ļ								<u> </u>
95年 販売農家					-										ļ	<u> </u>								┿
W/D/Ress.			英 楽		人 [」 (人)	<u> </u> (つづき)	L	L	其於的農學((人) (本者 (人)		L	l	<u> </u>	農	業	専 彷	* 者	(人)	<u> </u>	L		
15	男	(つづき								and Moki	C + B O O	-	1			/FK	**	** W	- 19					
	40~59	60~64	65歳以上	女	15~29歳	30~39	40~59	60~64	65歳以上	8+	男	21	男	15~29歳	30~39	40~59	60~64	65歳以上	女	15~29歳	30~39	40~59	60~64	6
95年															1	1	T		<u>†</u>	1	T	<u> </u>		+
販売農家																								\top
	準 専 従 者	(人)				兼 第	连 従	事者	(人)							経	営	耕	地	(ha)				
16	' [男	主に恒常	± 15	主に日展		女	主に恒常	主に	主に日雇	1	- 91						æ					
- 1	11	男	(実)	的勤務	出稼ぎ	・臨時雇	自営兼業	(実)	的勤務	1	・臨時雇	自営兼業	(面積)	田のある農家製	な 福を作った農家製	田の面積	程を作った面積	二毛作した面積	過去1年間に 稲以外を作付 けた面積	(=)		+# (=)	MT-100-07 ()	通作力
				PJ 380 199	шъке	200 V-7 /ME			D 3 30 495	出稼ぎ	, P20-4-10国			(月)	MEITSTERM	1		EIFC/: (E) (E)	けた面積	大豆 (戸)	飼料用作物 (戸)	麦類 (戸)	野菜類 (戸)	'n
5年						 				-									 		ļ			_
次元を多く			経	営耕	地	(ha) (L	1	ļ	借	入 辨	地	(ha)		- (45)	/- +44	地 (ha	Ļ	蝉	100 101	<u></u>		<u>ـــــــــــــــــــــــــــــــــــــ</u>
ŀ		畑		(樹園地を除く)		(ha) (つづき) 樹 園		地			H THE		ち田		園地を除く)		貸付耕			耕		外の士		(ha)
17 F	畑のある農玄数		/ PERMISE CO		MATERIAL CO. 4 -			15		農家数	<u> </u>	農家数	T	農家数	2015.5 W. ()	農家数	1	農家数	ち田	新 農家数	作放到	地	採草地農家数	
1'	(尹)	畑の面積	普通畑	過去1年間に 作付けをしな かった畑	樹圃地のある 農家数(戸)	樹園地面積	果樹園	茶園	桑圆	(戸)	面積	(戸)	面積	(戸)	面積	(戸)	面積	(戸)	面積	(戸)	面積	以前が田	(戸)	ä
				1	1	1	1	1	I	1		1	1	.1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-1
995年					†								T	1							 			
																<u></u>								
95年 反売農家	N番号12~	1.7について	it, 1995	年農業センサ	サス農家調査組の内訳(安保	き果による。																		

(参考)

農林水産省

1995年	農業セン	/サス農	村地域	環境総合	·調査 ·	旧市区	町村カー	ド(C票			基本指標	都道府県	番号	5	市区町村	4 番 5	}-	旧市区町	村 番	-	農業地域類型	市町村	旧市区町
												名称										コード		
	耕地以外の	土地 (ha)	(つづき)	軍用地内の黙認様(作地(沖縄県のみ)			作	物	種	類	別 収	穫	硒	積	(ha)			施	設 医	芸		異産物販売 の部門別書	金額祭1
18	肥培管理を していない	山林・原野等の (北海)	採草地・放牧地 ((み)	農家数	面積	A1	***		45	1 400		工芸		花き類・	種苗・	飼料用	その他の	実農家教		カス語	ガラス室(
	牧 草 地 (北海道のみ)	農家数(戸)	面 積	(戸)	(ha)	計 (のべ)	稲	麦 類	雑穀	いも類	豆類	農作物	野菜類	花木	苗木類	作物	作物	(芦)	農 家 数 (戸)	面 積 (a)	農家数	面積 (a)	稲 作	安類
1995年																					 	(4)		
販売農家		-																						
1		農産	董 物	販 売 :	金 額	第 1	位の	部門	別農	家 数	(戸) (-	つづき)	L		, and the same of	業	経 2	\$ 88	織	引 農	家	数(芦)	
	維穀·	工芸		T	T		11 -									単				経		営		
19	雑数・ いも類 ・豆類	農作物	露地野菜	施設野菜	果樹類	花き・花・木	その他の	酪農	肉用牛	養 終	養鶏	その他の 産	養 蚕 (北海道なし)	#†	稲 作	麦類作	雑穀・いも類・豆類	工芸農作物	露地野菜	施設野菜	果樹類	花き・花き木	その他の作物	BS A
年販売農家				ļ																				
	農	業 経 2	組織	別農	家数	(戸) (つ	づき)			家.	番	種	類	別	飼	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	農 家	数	٤	頭	33	数	L	L
20	単	_	経 営	くつづき	÷)				乳	H -	= -		肉	用	牛		l'	Л	<u> </u>			採り	邝 鶏	
20	肉用牛	養豚	賽 鶏	その他の	養 蚕 (北海道なし)	複合経営	準 単 一 複合経営	農家数(戸)	2 歳以上の 乳用牛を20 頭以上飼養	頭 数 (頭)	2歳以上	農家数(戸)	肥育中の年 を 2 0 頭 以 上 飼 巻	頭 数 (頭)	乳用種	肉用種のう ち子取り用 め す 牛	農家数(戸)	肥育中の 豚を100頭 以上飼養	頭 数 (頭)	子取り用めす豚	農家数(戸)	6ヵ月以上の採 卵鶏を5000 羽以上飼養	羽 数 (100羽)	6ヵ月以の探卵
年販売農家				 -			0.0.0		- 銀以上飼養	(2)(7)	 	- 0 /	以上詞養	(347)		あす牛	1 07	以上飼養。	(39(7	6) 1 BX	1 ()-)	羽以上飼養	(10037)	0) 1× 91
T NA. 76/2005	家畜種類別飼	# 曹宏治 レ頭可	か (へづき)	馬(北海	(道のな)	養蚕(北	佐満かし)		J	71/2	稲作〔	」 内は	26 28	18 00 3	: とうき	- TR 1/27	1/c +/c +t.	請負わ	22- N- ML	₩.	= set /	ha)	l	l
	プロイラー 農家数 頭 数						7	辞俗も		78e 7111	(耕起・		耕起・		: こ ノ e 植 付 け)	田植(中耕・					除		· 脱 榖	(収 獲
21	出 发展 变数		展家製	頭級	農家数	掃立卵量	請せ展 負た家 数	育苗から乾燥・ 調製までの全作 業 (耕起・整地	型 第 粉	1		典 安 米	1		M = #	1		農家数	·		an w.	* 10% #x	(収 後	
	(戸)	1万羽以上出荷	(100羽)	(戸)	(頭)	(声)	(箱)	(戸)	業 (耕起・墓地 から収穫までの 全作業)	(声)	面積	受託組織 機協等へ	(戸)	面積	受託組織・厳協等へ	(戸)	面積	受託組織・農協等へ	(戸)	面積	受託組織・農協等へ	長孝冢 (戸)	面積	受託組・農協等
1995年								i	21730		 					†			- "-		1.7.00.47	 		37, 43, 41
販売農家									· · · · · ·											 				-
	水稲作作業を調査	bせた農家数・面積	(53) (つづき)	党作作業を譲負わせ	た農家数・面積(か	a) (沖縄県なし)		1	水稲作 〔	() 内は	、沖縄男	しのさと	きび作	作業を請	負った農	家数・	面積 (ha)	·		変作作業を課金。	た農家数・直積の	a) (沖縄県なし)		L
12	乾燥・	調製(沖繩県	なし)	m ~ at			請負った		業を請負		,	代かき(耕起		田植		培 土)		· 脱 榖	(収 後)	農家数	T		i	/
22	農家数			農家数	面積	受託組織	実農家数	農家数			農家数			農家数	1		農家数	ſ		***	面積	受託組織		
	(戸)	面積	受託組織・農協等へ	(戸)		・農協等へ	(声)	(戸)	面積	受 託 組 銭 等の仕事で	(戸)	面積	受 託 組 繊 等の仕事で	(戸)	面積	受託組織等の仕事で	(戸)	面積	受 託 祖 雑 等の仕事で	(戸)		等の仕事で	/	
1995年			3, 33 -7	 		1		 ``			1	 	70.47	07		77047	1 00		4044					
販売農家					1	<u> </u>	1										 						/ .	
1.00	· · · · · ·	農用	機械所	有台数	(個人・	+ 共 用)	(() p	1 は、 i	中縄 県	(台)			保有:	」 山林南:	間 規 模 !	別農家	数 (戸)	·		<u> </u>	農業以外			
	動力耕うん機・農用トラクター [() 内は北海道の区分] 動力防除機					乗用型ス	-動 カ	パインダー 自脱型ニ		普通型二 米 麦 用		* H L		農家	林	家 (0.1ha 以上		保有山村		人工林面報		サービス		/
23	歩行型	15PS未満 (30PS未満)	15 ~ 30 (30~50)	30PS以上 (50PS以上)	乗用型 スピード スプレヤ ステント	ピードスプレヤー	田植機(神経県ない)		ンパイン	ンバイン (北海道のみ) (動力脱葉機)	乾燥機	0. lha 未満含む]	3+	0.1~1.0	1.0~5.0	5.0~20.0	20.0~50.0	50 .0 ha 以 上	面 積 (農家林家のみ)	面 積 (ha)	第 体 数	事業体数 (事業体)		
	 	(00.0)((4)	100 007	(00.0%12)	ーーを除く	ļ	(神典帯なし)	(沖縄係なし)	(さとうき) び刈取機	(動力脱叉機)	(動力操出機)	 ` 	ļ		 	 	-	1 -	(ha)	(na)	(T X W)	(*************************************	/	
1995年 販売農家				 	 	 	 				-	-	ļ			1			ļ	 	 	-	/	
Ⅰ姒冗扊豕	1	I .	l .	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	ı	1	1	1	1/	

	医療機段の数	(施致)★6	25	(化・コミ	ミュニテ・	ィー施設	数(施設)★	7	7	ポ ー	ツ施	短 数 (施設) ★7				[摩擦按	9の世 (+6)	[ψ(ν:=: ≥ :	・ニティー族	設数 (→ 7)	「マポーツ	体散粉 (十7)	1 W.T.K. [3	一种科技
24	病院	一 般 診療所	公民館	図書館	博物館	文化会館	青 少 年 教育施設	婦 人 教育施設	野球場・ ソ フ ト ボール場	運動広場	体育館	テニス場	ゲートボー ル場・クロ ケット 場	キャンプ場	注:	川事業所数 ・替え集計会 なお、展	(★8) (★8) 等し、表 美地域類	について について 示したもので 型の都市的は	、特に農山 ある。 地域に該当し	村地域の生存 た旧市区町4	苦環境を表す# 付については、	」、「スポーツ 語標として、他: 表示(集計)	省の統計調査を	:旧市区町村の	選位に組 っては留意
1995年															ئے ا	enter.									
					[参考]	従	業	、員	数	規	模	別	事	業	Ē	沂	数	(事	業 所)	★8					
25			KE.	*	業 万	ī 数							設	業						製		造	梊		
20	3 +	1~4人	5 ~ 9	10 ~ 19	20 ~ 49	50 ~ 99	100 ~ 199	200人以上	. 31	1~4人	5 ~ 9	10 ~ 19	20 ~ 49	50 ~ 99	100 ~ 1	99 以	上上	8+	1~4人	5 ~ 9	10 ~ 19	20 ~ 49	50 ~ 99	100 ~ 199	200
1995年																									
		(4	5考)	逆	員	数 規	模	別事	業	所 数	(事業	所) ★8	(つづき)				··		- h	-1				
26		£ ₽	売・	小	売・	・ 飲 食 業					サ	- ビ ス #			業										
20	81	1~4人	5 ~ 9	10 ~ 19	20 ~ 49	50 ~ 99	100 ~ 199	200人以上	8+	1~4人	5.~ 9	10 ~ 19	20 ~ 49	50 ~ 99	100 ~ 1	99 2 0 0	人上		_						
1995年							·	<u> </u>	i		1		1	 											

注:1 ★6は「医療施設調査」(原生省:平成5年、6年)の個票データを、農林水産省統計情報部において旧市区町村単位に組み替え集計したものである。
2 ★7は「社会教育調査及び生涯学習・社会教育施設等調査」(文部省:平成5年)の個票データを、農林水産省統計情報部において旧市区町村単位に組み替え集計したものである。
3 ★8は「事業所名簿整備調査」(総務庁:平成6年)の市区町村別集計結果を、当該市区町村に所在する旧市区町村に「参考」として掲載した。したがって、旧市区町村単位の集計結果ではないことから、利用に当たっては十分留意されたい。